

# 実測調査報告～車両交通量調査から騒音調査まで～

ラムザ自治会 ロハス倶楽部

# 住環境新聞

田島通り、圧倒的な数字を記録



計測地点 A の様子



計測地点 B の様子

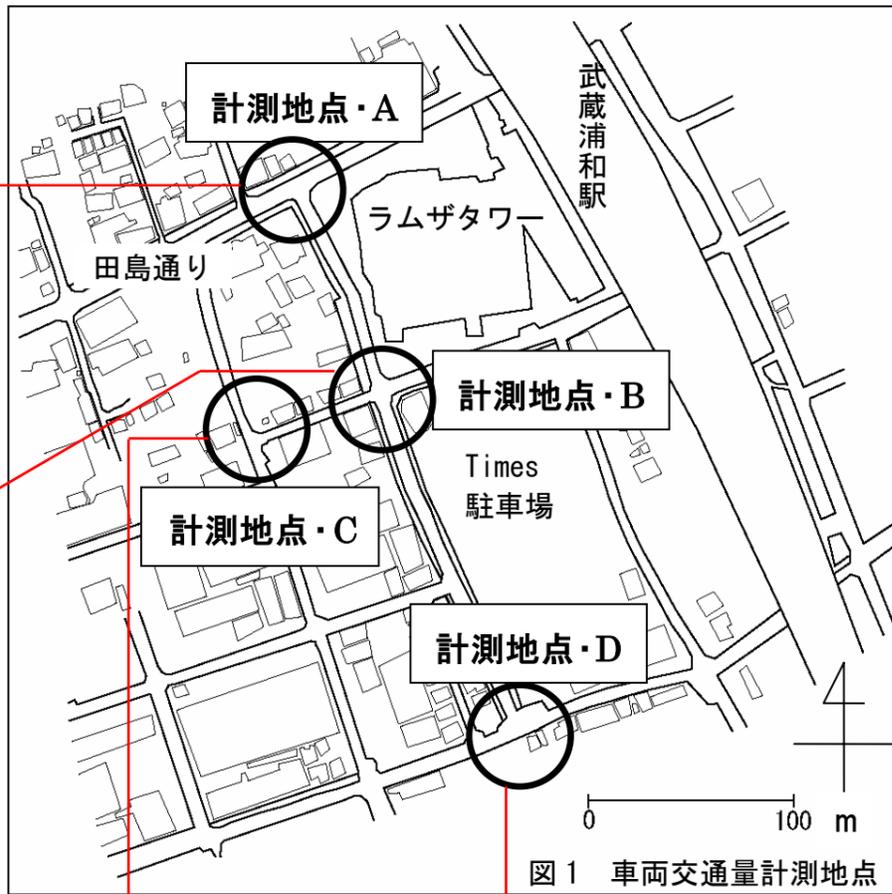


図1 車両交通量計測地点



計測地点 C の様子



計測地点 D の様子

## 第三号

2005年12月3日

ラムザ自治会

ロハス倶楽部

芝浦工業大学三浦研究室

小曾戸 毅

松本 龍憲

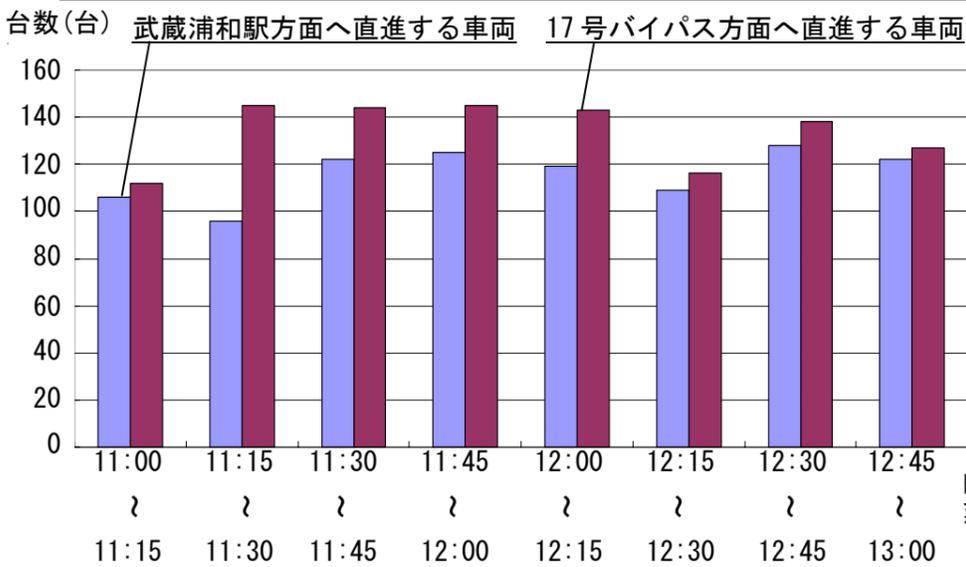


図2 計測地点 A における東西の直進車両台数の時間推移

11月6日の日曜日、午前11時から午後1時まで車両交通量調査を行いました。計測地点は住民の方との話し合いの末に、上記の4地点に決定しました。当日は9人の住民の方が実測に参加しました。計測は15分毎に行い、車種別に通過台数を記録していきました。当日はアクシデントもなく、無事に調査を終えることができました。

調査の結果、やはり田島通りに面しているA地点の交通量が最も多いことが分かりました。特に田島通りを東西に抜ける車両数は圧倒的でした。国道17号への抜け道でしょうか。図2に、計測地点Aにおける東西の直進車両台数の時間推移を示します。



写真 路上駐車計測の様子

調査の結果、タイムズ駐車場前の通りに多く止まっていることが分かりました。また、駐車台数の最も多い時間は午後3時で、乗用車17台・貨物車3台・合計20台の車両が計測範囲内に停まっています。また、計測範囲内のどちら側にも多く停まっていたかという点については、圧倒的にラムザタワー側であるという結果が得られました。上の写真は路上駐車調査を行っている様子です。

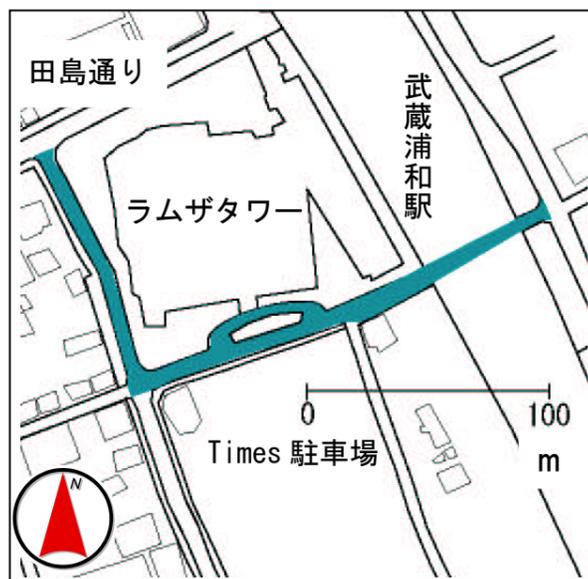


図3 路上駐車計測範囲

路上駐車調査も同日実施  
交通量調査と同日、午前9時から午後8時までラムザタワー周辺の道路で路上駐車調査を行いました。図3に路上駐車計測範囲を示します。当日は計測範囲内を30分おきに巡回し、計23回の調査を行いました。

【新聞の発行にあたって】  
この「住環境新聞」は、住民の皆さまに住環境に対する興味を持っていただきたい、また、住環境実測調査などの実際の活動に参加していただきたいの思いを込めて発行しております。この新聞を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。なお、この新聞は毎月発行する予定です。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

# ◎ラムザタワー周辺の明暗が分 かれました。

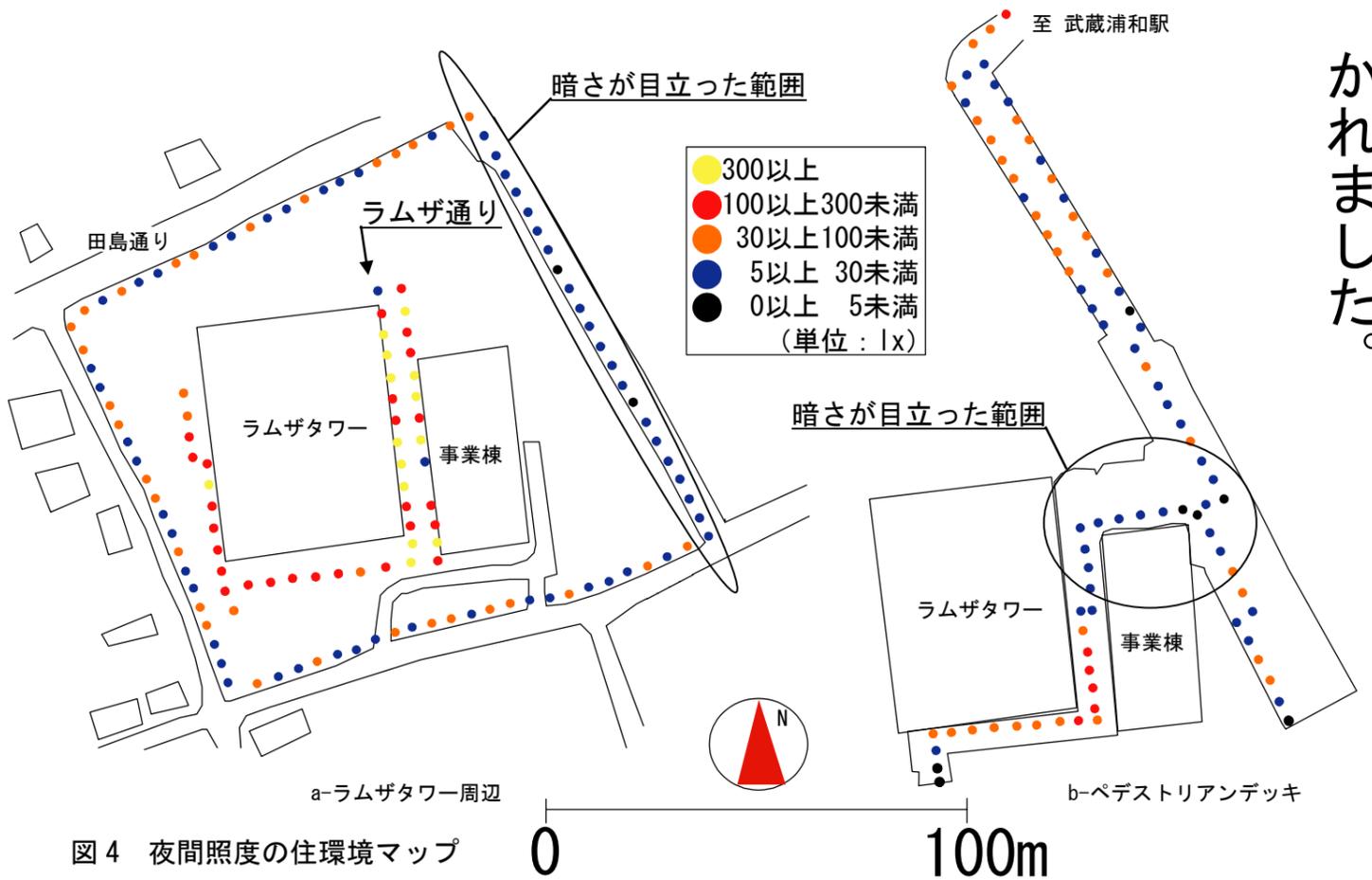


図4 夜間照度の住環境マップ

11月20日の日曜日、午後6時から午後7時まで住民の皆さんがよく通るラムザタワー周辺とペDESTリアンデッキ上において、路面の水平面夜間照度を5m間隔で計測しました。図4に夜間照度の住環境マップを示します。

調査の結果、対象範囲は全体的に照度がとても高いことが分かりました。特にラムザ通りに顕著に表れていることが分かります。しかしながらラムザタワーの東側、図4の○で囲まれた範囲は全体的に他と比べて低い結果となっており、明るいところと暗いところの差が大きいことも分かりました。

## 二酸化窒素濃度実測調査に参加してみませんか？

12月6日(火)午後8時から12月7日(水)午後8時までの間で二酸化窒素濃度実測調査を予定しています。

すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、この調査は開始時刻にカプセルのフタを開け、24時間放置した後カプセルのフタを閉めるという簡単な作業です。

この調査が今回最後の実測調査になります。12月3日(土)午後1時から8階和室にてカプセルを配布しますので、ぜひ足を運んでみてください。

## 懇談会日時決定！

日時：1月15日(日) 15:00~  
集合場所：8階和室

懇談会では、これまでの調査の結果から第二回アンケートの結果まで、今回の全ての調査に関して報告いたします。

今回の実測調査結果をどのように使うか、これから武蔵浦和駅周辺はどのような街並みに変わりつつあるのかなど、ラムザタワーにお住まいの皆さまのこれからについて話し合えればと思います。

実測調査には参加できなかった方も、お誘い合わせの上ぜひご参加ください。ラムザタワーの環境の現状を把握しておきましょう。

※日時・場所に変更のある場合は後日お知らせいたします。

### 「お問い合わせ先」

ラムザ自治会 ロハス倶楽部  
Email: lohas@lamza.org  
URL: http://www.lamza.org/  
芝浦工業大学 三浦研究室  
TEL/FAX: 048(687)5832  
Email: r02054@sic.shibaura-it.ac.jp(松本)  
URL: http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/  
担当学生: 小曾戸 毅 松本 龍憲

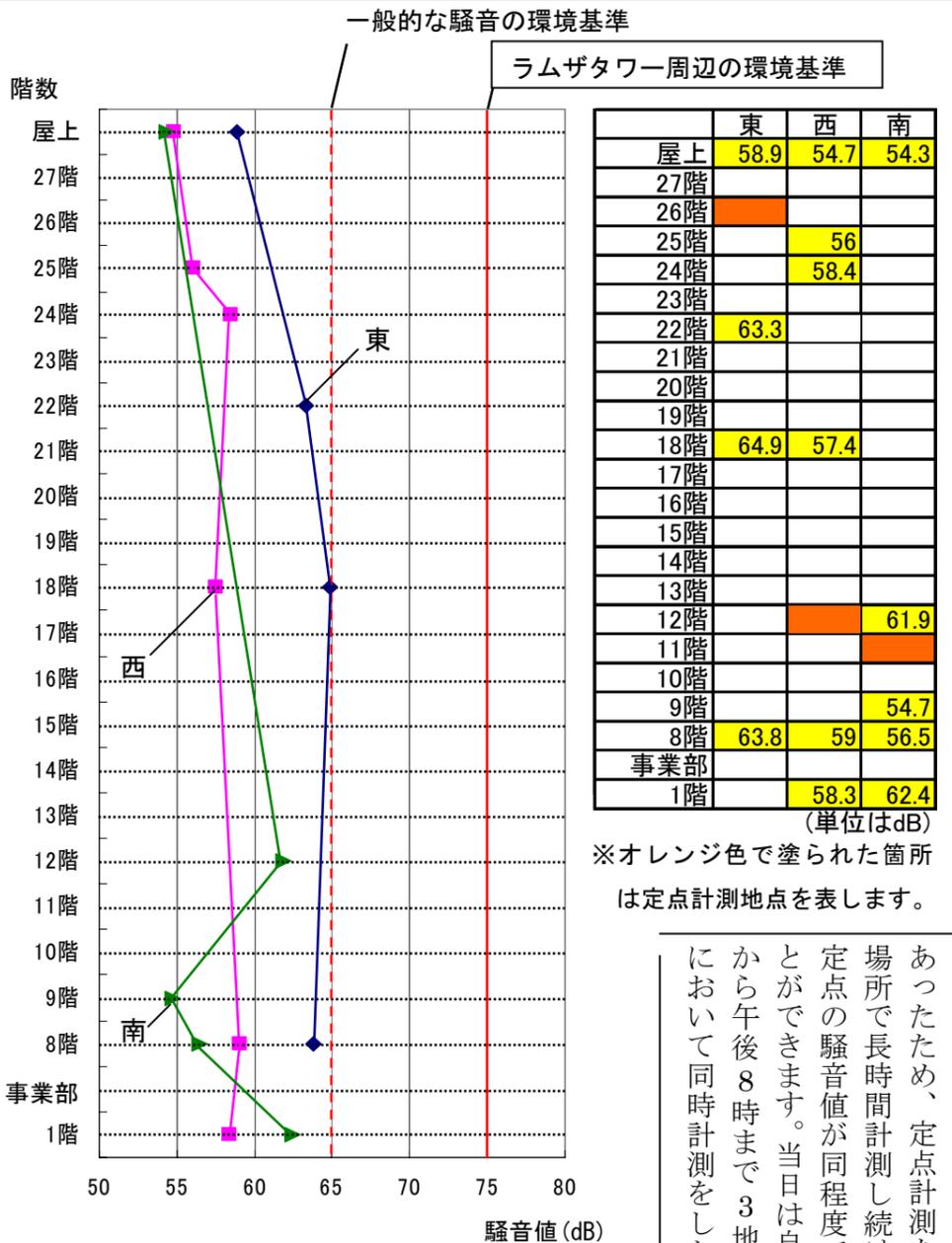


図5 方角別の各階における等価騒音レベル

11月20日の日曜日、午後1時から午後5時までラムザタワー内と敷地内において、騒音調査を実施しました。計測地点は全15地点でした。計測機の都合上全地点の同時計測は不可能であったため、定点計測を利用しました。定点計測とは、一定の場所で長時間計測し続けることです。異なる時刻に計測しても定点の騒音値が同程度であれば、同時刻に計測したとみなすことができます。当日は自治会役員の方の住居を借りて午前9時から午後8時まで3地点で定点計測を行い、今回の全15地点において同時計測をしたとみなしました。計測する時間帯に関しては、武蔵浦和駅を通過する電車の本数から騒音の安定していると予想される時間帯を割り出し、15分単位で計測を行いました。図5に方角別の各階における等価騒音レベルを示します。等価騒音レベルとは、計測時間内の騒音値の平均のことです。

調査の結果、方角別では線路に面している東側の騒音値が高いことが分かりました。また、階数別では低層階ほど騒音値が高くなる傾向が見られました。なお、すべての計測地点においてラムザタワー周辺の環境基準である75dBを超えることはありませんでした。

## 環境基準を満たした騒音値